

女性の活躍に向け協議スタート

中部地域経営会議ワーキンググループ



方向性絞り込みで意見交換

座長に静岡大学院教授の笹原氏

中部地域8市町の自治体、商工会議所・商工会、大学、NPO法人で構成する中部地域経営会議はこのほど、

静岡市内で本年度の調査研究テーマ「女性の活躍」に関する第1回ワーキンググループ会議Ⅱ写真Ⅱを開いた。来年2月ころまで月1回のペースで協議し、ビジョンをまとめる。

「女性の活躍」は「みちの国・駿河構想」静岡県中部地区における広域観光の在り方」「中部地域の創生ビジョン」起業・創業編」に続く第3弾のテーマ。ことし5月開催の中部地域経営会議総会で出席者の間から出た意見をもとに7月開催の企画課長級で組織するプロジェクト会議で承認された。

ワーキンググループは6

人で構成。座長には静岡大学院情報学研究所教授の笹原恵氏が就任した。

初会議では、「女性の活躍」というテーマを今後どう絞り込み、方向性を打ち出していくか、その前段として各自がそれぞれ自由に討論。このうち問題意識としては人口減少と少子高齢化は外せないという点で一致。また、「人口減少の中でも若い女性の首都圏への流出が著しい。なぜ首都圏を選ぶのかも押えたい」「女性の活躍」というとママ世代のことと思いがちだが、仕事に意欲のある60代、70代の高齢女性のことも考えたい」といった意見が出た。

このほか「経営者か行政か誰に向けた提言にするか明確にすべき」「経営者の意識が変われば女性が生き生き仕事に打ち込める」「行政

がかなり取り組んでいる子育て支援は外し、女性の活躍に絞った方がいい」「女性の問題は総じて男性の問題でもある」「業種ごとの提言ができればこれまでにないものができる」など熱い討論が交わされた。

次回も引き続き絞り込みに向けた討議を行う。

◇「女性の活躍」WGメンバー

座長 笹原恵・静岡大学院情報学研究所教授
委員 浅野秀浩・お仏壇のやまき社長、静岡大人文社会科学部非常勤講師
内田美紀子・るるキャリア代表取締役
高松利光・静岡市子ども未来局次長
国保祥子・静岡県立大経営情報学部講師
石井祐子・静岡新聞社経済部記者、「こち女」取材班